

	進取の気概 (校長室だより)	有田市立箕島中学校 自主 友愛 剛健	R5・5・23
			No.7

校内体育大会が今週の土曜日に近づいてきました。ここで、改めて「体育大会は何のためにするのか」ということについて、みなさんと共有しておきたいと思います。遠足の校長室だよりでも言いましたが、体育大会や文化祭、修学旅行などの学校で行う行事の目的というのは、国(文部科学省)によって定められています。



その目的を簡単に言うと「学校、学年、学級という集団の質を高める」ということです。言い換えれば「良いチームをつくる」ということです。そして、「良いチーム」をつくるために自分自身が「良いチームの一員」になるということです。このために体育大会は行います。そして、その目的に向かうため、箕島中学校には2つの体育大会の目標があります。

箕島中学校 体育大会の目標

- 心身の健全な発達を図るとともに、クラスの和を高める場とする。
- 「協力」・「団結」のすばらしさと喜びを味わう。

ゴール(目的)を全員(みなさんと私たち教職員も含めて)が意識して体育大会に取り組むことができれば、勝っても負けてもみなさんにとって素晴らしい体育大会になることは間違いありません。逆に目的を見失ってしまえば、単なる勝ち負けだけで、そこに学校行事としての意味はありません。

いつも言うことなのですが、運動が得意な人もいれば苦手な人もいます。一人ではできないけれど、友だちと一緒にだからがんばれることがあります。友だちと協力するから成し遂げられることがあります。「良いチーム」をつくるためには自分がチームの良き一員であること。一人ひとり個性があり違うけれど、箕中が「良いチーム」であることを実感できる体育大会になれば大成功です。

○(マル)出しを意識しよう

良いチームをつくるという目的のために、体育大会では自分自身と周りの人への「○(マル)出し」をしっかりとしてほしいと思います。「○(マル)出し」とはダメ出しの逆です。いい所、がんばっている所を見つけるということです。

体育大会は、これからのみなさんの学校生活につながっていきます。だからこそ「○(マル)出し」です。自分そして周りの人の、たくさんのいい所、がんばっている所を見つけ、しっかりと声をかけ合える体育大会にしてください。